

久栄社 カーボンフットプリントへの カーボンオフセット 深化

株式会社久栄社(田島 久義社長、東京都中央区)の千葉工場で印刷した印刷物は、LCA(ライフサイクルアセスメント)による測定方法により、素材の調達から、その印刷物の製造や物流に
関わるトータルCO₂排出量を測定できる。

CO₂を見える化して削減

久栄社は平成20年度より、社団法人産業環境管理協会が行っている経済産業省からの受託事業「製品グリーンパフォーマンス高度化推進事業」に参加し、その指導のもと各工程別のCO₂排出量の計測事業を行ってきた。また、日印産連カーボンフットプリント委員会にも参加し、印刷業におけるPCRの策定や運用に関わっている。

平成21年度からは、同社田島社長が会長を務める日本水なし印刷協会
で、清水印刷紙下(株)の水宏和社長の協力を得て、より正確かつスピーディーに提出されたCO₂係数を引用。使用量は実測または想定値で算出。
印刷機および恒温装置の消費電力は各製本機メーカー公表の定格電力に稼働時間を乗じて算出する。

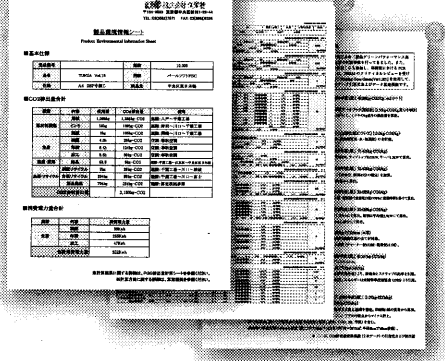
排出量も加算する。トトラックで千葉工場から納品サイトまでの距離を
もとの算出。CO₂係数はプラスチック処理促進協会の報告書より引用。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。

印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。

印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。
印刷工程における印刷機および恒温装置の消費電力は、消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。

「製品環境情報シート」の提出

CO₂を算出した印刷物は、納品後に下記の報告書を顧客あてに提出している。また、詳細な計算方法や算出根拠は久栄社ホームページ(www.kyueisha.co.jp)でも紹介している。



- 当該印刷物の仕様と段階別合計CO₂排出量。
- 各プロセス別の詳しい計算式と算出結果。
- 2次データの引用先等、詳細な算定根拠。

久栄社

カーボンフットプリントへの深化

下

株式会社久栄社(田島区)はカーボンフットプリントとカーボンオフセットにより、CO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいる。

株式会社久栄社(田島区)は、削減したCO₂量を特定し、この「CER」を活用し、これを大気中CO₂濃度の軽減効果として認められるもの。なかでも「CER」と呼ばれ、現在も信頼の高い排出権である。

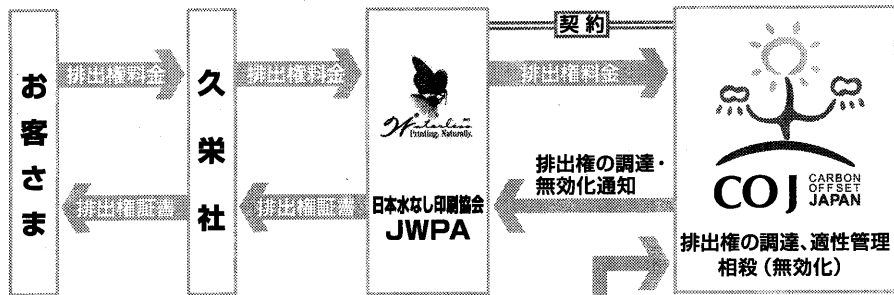
確実なCO₂削減を強みに

なり、印刷物のCO₂排出量を適切な価格で相殺できる。日本水なし印刷協会との契約に従ってCOJは排出権を適切に調達・管理し、このオフセット以外の目的で再利用されることのないように「排出権の無効化手続き」を行う。無効化された排出権は日本の京都議定書での削減ノルマに反映される仕組みである。CO₂排出権は、国内での排出権取引(国内クレジット制度)がまだ準備段階のため、購入した排出権はすべて海外投資となる。そこで、日本の資金を日本の環境改善に使用するため、久栄社では「グリーン電力証書」の元と「環境付加価値」

カーボンフットプリントはCO₂排出源を見える化し、排出量の多い材料の仕様変更や、排出現場で排出量の多い製造工程などの見直しにより削減する。カーボンオフセットでは、全く異なる現場で削減した排出量をCO₂排出権として購入し、相殺することによって削減する。

出削減事業(CDM)から発生する□kgのCO₂はカーボン・オフセット・ジャパンを通じてオフセット(相殺)され、地球温暖化防止に貢献します。田島社長が会長を務める日本水なし印刷協会では、信頼の高いカーボンオフセットプロバイダである(社)日本カーボンオフセット(COJ)と契約

は、第三者機関である(財)日本エネルギー経済研究所の附置機関である「グリーントラ」が認証機関として審査・監視し、認定・認証を行い、重複や不適切な使用を防ぐ仕組みを工夫している。久栄社ではカーボンフットプリントにカーボンオフセットや水なし印刷などの活動を結び付け、印刷会社による戦略的な環境サービスを推進していく。



排出権(海外水力発電所建設等)

「CO₂排出権」とは、排出削減事業によって純粋なCO₂削減額を証明した権利のことです。この権利は、排出権取引市場で売買され、排出権の削減に積極的に取り組んでいる企業や個人が、自らの排出量を削減するために購入し、自らの排出量を削減するために使用することができます。